

令和5年度老人福祉施設（養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・軽費老人ホーム）運営指導実施方針

1 総論

（1）基本概念

老人福祉施設（養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・軽費老人ホーム）（以下「施設等」という。）の運営指導は、「介護サービスの質の確保と向上」及び「要介護者の尊厳の保持」並びに「高齢者に対する虐待の防止」、「適正な介護報酬請求の徹底」等を踏まえて、施設等の所在地において、関係書類等を基に運営指導を行う。

（2）個別性の重視

施設等がその種別、歴史的沿革、立地条件その他の事情により、それぞれ創意工夫のもとに運営されていることに鑑み、個々の施設等の運営努力をも勘案し、運営指導が形式的・画一的な指導にならないよう留意する。

（3）総合的な指導

入所者等の処遇、職員の配置及び勤務条件、介護報酬の請求、設備の状況等、施設等の運営管理全般に渡って総合的に実施する。

また、施設等に併設される老人短期入所事業についても、併せて運営指導を行う。

2 運営指導の方法

（1）実施概要

運営指導は、原則として1施設1日とし、関係者に対して関係書類等を基に説明を求め、面談方式で行う。また、適切かつ円滑な運営指導が実施できるよう、対象施設等の運営規模、運営形態等を考慮して、長寿社会課介護サービス指導室及び管轄振興局の複数の職員を従事させる。

なお、施設・設備や利用者等のサービス利用状況以外の実地でなくても確認できる内容については、情報セキュリティの確保を前提としてオンライン等を活用することができる。活用にあたっては、老人福祉施設の過度な負担とならないよう十分に配慮する。

（2）指導事項の規範

運営指導は、社会福祉法、老人福祉法及び介護保険法に関する法令準則等の他、「介護保険施設等の指導監督について(通知)」(令和4年3月31日老発第0331第6号)及び「介護保険施設等運営指導マニュアル」(令和4年3月31日老指発0331第7号)並びに「社会福祉法人指導監査実施要綱の制定について」(平成29年4月27日雇児発第0427第7号・社援発第0427第1号・老発第0427第1号)等を規範として実施する。

（3）実施方法

- ア 運営指導は、施設等の管理者又は事務部門の責任者の立会いのもとに実施し、介護部門の責任者、その他必要と認める者の出席を随時求めるものとする。
- イ 運営指導は、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止対策を講じた上で行う。
- ウ 職員は、事前提出資料に基づき、施設等の人員及び運営等の状況を、関係法令に照らして検討し、「運営指導調書」に基づき適否の判定を行う。

3 運営指導の対象施設

次に掲げる老人福祉施設に対して運営指導を行う。

- ア 県所管の養護老人ホーム
- イ 県所管の特別養護老人ホーム（施設に付随する老人短期入所事業を含む。）
- ウ 県所管の軽費老人ホーム

4 運営指導の結果通知

(1) 通知方法

運営指導の結果については、講評において職員が口頭で指導したもの等を取りまとめて整理した後、文書により、原則として運営指導の日から1箇月以内に施設に到達するよう通知する。

(2) 通知内容

運営指導結果の通知に当たっては、運営指導の当日に聴取した事項や後日の追加資料を綿密に検討し、問題点を明らかにした後、その問題点を解決するために施設が採るべき必要な改善措置等を具体的に示して通知する。この場合において、通知を受けた施設が速やかに問題の解決を図れるよう、参考資料の紹介等有用な情報の提供にも努める。

5 本年度の重点指導項目

- ① サービス計画、サービス記録の適正化について
- ② 事故発生防止体制に係る取組について
- ③ 身体拘束等適正化の取組について
- ④ L I F E の運用状況について